

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●2023WAS Jは岩田望来騎手&JRA選抜が優勝

8月26日(土)の2回札幌5日と翌27日(日)の2回札幌6日、計4レースで争われた2023ワールドオールスタージョッキーズ(WAS J)では、岩田望来騎手(栗東・フリー)が3着、7着、2着、3着で計56点を獲得、55点のR.キング騎手、54点の武豊騎手を上回り初出場初優勝を果たしました。2005年(当時はワールドスーパージョッキーズシリーズ)には父の岩田康誠騎手も優勝しており、親子制覇はシリーズ史上初のこととなります。なおチーム対抗戦は、235ポイントのJRA選抜が213ポイントのWAS選抜を押さえて優勝しています。

●海外の3騎手がJRA初勝利をあげる

WAS Jに参戦した外国人騎手のうち3名が相次いでJRA初勝利をあげました。まず8月26日(土)の2回札幌5日・第10レースとして行われたWAS J第1戦ではドーバーホークが1着となり、同馬に騎乗したR.キング騎手(豪)がJRA初勝利(3戦目)をマーク。翌27日(日)の2回札幌6日・第10レースとして行われたWAS J第3戦ではナチュラルハイが1着となってM.ヴェロン騎手(仏)がJRA初勝利(5戦目)をあげ、さらに第12レースのWAS J第4戦ではフェステスバントが勝利、A.パデル騎手(香港)もJRA初勝利(8戦目)をあげました。

●菊川正達調教師がJRA通算300勝を達成

8月27日(日)の2回札幌6日・第6レースではブラックヴァールが1着となり、同馬を管理する菊川正達調教師(美浦)は、現役68人目となるJRA通算300勝(延べ5890頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●サンライズホークがサマーチャンピオン(佐賀)で重賞初制覇

サマーチャンピオン(JpnⅢ、8月31日、佐賀、1400m)は、先手を取った4番人気のサンライズホーク(ミルコ・デム・ロ騎手、騾4歳、父リオンディーズ)が2馬身半差で逃げ切り勝ち。2番人気のオマツリオトコが2着、3番人気のレディバグが3着、デンコウリジェールが4着、単勝1.9倍で断然人気のヘリオスが5着と、JRA所属馬が上位を独占しました。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和の結果

2023ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和は8月29日に行われ、第1戦は秋山稔樹騎手(美浦)、第2戦は中島良美騎手(浦和)が優勝しています。

●ビギナーズCは無敗のフジユージーン【各地の主要2歳重賞】

ビギナーズC(8月20日、水沢、1400m)は、4~5番手を進んだフジユージーン(牡、父ゴールデンパローズ)が直線に入って間もなく逃げ馬を捉え、単勝元返しの支持に応じてデビュー以来の連勝を3に伸ばしています。

●高知、北海道で相次いで三冠馬が誕生【各地の主要3歳重賞】

黒潮菊花賞(8月27日、高知、1900m)は、大きく出遅れて最後方から徐々に位置取りを上げた単勝1.1倍で圧倒的人気のユメノホノオ(牡、父バトルプラン)が3コーナー手前で抜け出し、史上4頭目の高知三冠馬となりました。王冠賞(8月29日、門別、1800m)は、こちらも単勝1.1倍の支持を集めたベルビット(牡、父パイロ)が2番手追走から3、4コーナー中間で先頭に立って後続を5馬身引き離し、史上7頭目となる北海道三冠を達成しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1インターナショナルS~モスターダフが逃げ切る

現地8月23日にイギリスのヨーク競馬場で行われたG1インターナショナルS(3歳上、芝2050m)は、モスターダフ(牡5歳)がL.デットーリ騎手を背に逃げ切りました。ゴール前で内から伸びた昨年の仏オークス馬ナシュワが1馬身差の2着に入って、J&T.ゴスデン厩舎のフランケル産駒によるワンツーフイニッシュ。愛2000ギニーからサセックスSまでG1・4連勝で臨んだパディントン(単勝1.67倍の1番人気)は、4頭立ての2番手でレースを進めました。3着に終わりました。勝ったモスターダフは6月のプリンスオブウェールズS(芝1990m)に続くG1連勝です。

●G1トラヴァーズS~アルカンジェロが豪華メンバー対決を制す

8月26日にアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1トラヴァーズS(3歳、ダート2000m)は、J.カステリヤノ騎手が手綱を取ったアルカンジェロ(牡3歳、父アロゲート、J.アントヌーチ厩舎)が中団追走から直線半ばで抜け出して優勝しました。1馬身差の2着にG3マッドウィンSの勝ち馬ディアーム。昨年の米最優秀2歳牡馬フォルテが4着。G1ブリークネスSを制したナショナルトレジャーとG1ケンタッキーダービー優勝のメイジはそれぞれ5着、7着に終わりました。勝ったアルカンジェロは6月のベルモントS(ダート2400m)に続くG1連勝。女性調教師によるトラヴァーズS制覇は1938年にサンクスギビングで制したM.ハーシュ調教師以来、史上2人目のことです。